

公益財団法人 日本ゲートボール連合
新型コロナウイルス感染予防モデル大会実施マニュアル

大会の主催者（日本ゲートボール連合）は、以下の内容を踏まえつつ、参加者の属性を勘案して、感染防止のため自らが実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理することが求められます。また、各事項については、チェックリスト化し、適切な場所（大会の受付場所等）に掲示するとともに、各事項が遵守されているか定期的に巡回・確認することにより、大会の主催者だけでなく、参加者を含む関係者全員が感染防止のために取り組むことが必要です。

I. 大会等の参加募集時の対応

大会等の主催者は、参加募集に際し、感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求めてください。参加者の安全を確保するため、これを遵守できない参加者には大会等への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知することが必要です。

なお大会等の主催者が事前に参加者に求める感染拡大防止のための措置として、以下が挙げられます。

- ① 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる（大会当日に書面で確認を行う）
 - (ア) 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - (イ) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - (ウ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参し、競技中以外は着用すること
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施
- ④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ2m以上／障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ⑤ 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと
- ⑥ 感染拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと
- ⑦ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

II. 当日の参加受付時の留意事項

大会等の主催者は、大会当日の受付時に参加者が密になることを防止し、安全に大会等を開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行ってください。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限すること）
- ③ 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印等を設置すること
- ⑤ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること

- ⑥ 受付場所での書面の記入や現金の授受等をできるだけ減らすようにすること
- ⑦ 大会当日に限らず、前日などにも受付を実施し混雑を極力避けること

III. 大会参加者への対応

1. 書類による体調の確認

参加チーム代表者には大会当日、以下の事項を記載したチェックシートの作成・提出を依頼してください。

- ① 全員の氏名、年齢と代表者の住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに留意
- ② 大会当日の体温（全員分）
- ③ 大会前2週間における以下の事項の有無（全員分）
 - (ア) 平熱を超える発熱(平熱から1度以上の発熱)
 - (イ) 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
 - (ウ) 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等
 - (エ) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - (オ) 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無
 - (カ) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無

2. マスクの準備等

大会の主催者は、参加者にマスクを準備するよう依頼してください。（I-②）

- ① 競技中のマスクの着用は参加者等の判断による。
- ② 役員や競技補助員は試合中、常時マスクを着用する。
- ③ 参加受付、着替え、開・閉会式等の直接競技を行っていない間、特に会話する時には、マスクの着用を求める。
- ④ 大会に参加する個人や団体は、大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避ける。
- ⑤ 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮することを求める。

IV. 大会等の主催者が準備・配慮すべき事項

1. 大会会場・競技備品類

大会会場の換気については特に留意が求められます。また、競技で使用する備品には不特定多数の参加者が直接手を触れる物が多いので、開催期間の前後を通じて継続した対応が必要です。

- ① 屋内で競技を実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。窓を開けることができる環境でも、空調設備の活用や、必要に応じて扇風機を併用するなどの工夫を心掛ける。
- ② 屋外で競技を実施する場合には、特に仮設テントなどについて、換気の悪い密閉空間とならないようにするため、通気口を設ける等、換気に留意する。更衣室などでテントを閉鎖して使用する場合には、一度に使用する人数を制限し、密集・密閉状態を避ける。
- ③ 設置コート数は会場全体の広さを考慮し、コート間に3m程度の間隔を設け、コート間での接触機会を減らすよう努める。

- ④ 試合球、得点板、フラッグ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する。
- ⑤ 主催者は、感染対策とともに熱中症のリスクにも備える。特に、マスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことにより、体温が上昇することがあるため、こまめに水分を補給する。
- ⑥ 役員や競技補助員の試合中におけるマスクの着用は必須とする。

2. 運営スタッフの体調確認

参加者(チーム)のみならず、運営に関わるすべてのスタッフの検温を実施し、Ⅲ-1-③と同様の確認を行うことが求められます。運営リストにはない関係来場者などを正確に把握し、全員分の体調確認も徹底するよう努めてください。

3. 式典等、運営の簡略化

試合前後のあいさつや握手に関して、当面は一礼などでこれに代える形としてください。

また開・閉会式、表彰式などでは、参加者が密になる状態を避けるため、式典参加者の数を減らす、内容を簡略化するなどの対応が求められます。

4. トイレ・手洗い場所

洗面所(トイレ)は感染リスクが比較的高いと考えられるため、大会等の主催者は、以下に配慮して管理することが求められます。

また参加者がイベント開催・実施の間に手洗い・うがいをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保することが必要です。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所(ドアノブ、水洗トイレのレバー等)については、こまめに消毒する。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ③ 手洗い場には石鹸(ポンプ型が望ましい)を用意する。
- ④ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ⑤ 可能な範囲で、手を拭くための使い捨てペーパータオルを用意する。(参加者にマイタオルの持参を求めてもよい。布タオルや手指を乾燥させる設備は使用しないようにする)
- ⑥ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する。

5. 更衣室、休憩・待機スペース

更衣室、休憩・待機スペースも感染リスクが比較的高いと考えられるため、大会等の主催者は、更衣室や、一時的な休憩をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペースについて、以下に配慮して準備することが求められます。

- ① 参加者が密にならないよう広さにゆとりを持たせる。
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者数を制限する等の措置を講じる。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる箇所等(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)については、こまめに消毒する。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

6. 観客の管理

大会やイベントに観客の入場を認める場合には、マスクの着用を課したうえ、入場時には名簿への記名が求められます。

また、観客出入口付近通路にアルコール等の手指消毒剤を設置するほか、観客同士が密な状態とな

らないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らして間隔を空けるなどの対応が求められます。

感染拡大の状況によっては、入場時の検温などを導入するのが望ましいでしょう。

応援については、大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用することが求められます。

その他、会場内での飲食に関する規定や外履きを持ち込むための袋を持参する等の留意事項を周知することも必要です。

※ スリッパが準備できる会場でも、当面は貸与（使い回し）を控えて安全確保を優先する

7. ゴミの廃棄

鼻水、唾液などが付いたごみや使用済のマスクなどはビニール袋に入れ密閉して縛り、回収する人はマスクや手袋を着用してください。作業後は必ず石鹸と流水で手を洗い、手指を消毒することが必要です。

V. 大会の参加者が留意・配慮する事項

1. 休憩時、昼食等会食時(大会終了後の懇親会含む)の注意事項

大会に参加する個人や団体は、大会前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮してください。

また、休憩時、昼食等会食時には、飲食物の共有は避けてください。なお、大会前後での懇親会の開催は控えてください。

2. 競技中の注意事項

プレー中も競技者、スタッフ同士の接触機会を減らすよう、以下の点に配慮が求められます。参加チームには、競技前に周知のうえ協力を要請してください。

- ① 競技者及び審判は試合前後に手指を消毒する。
- ② 試合球に触れた時はできるだけ参加者自身で手指を消毒する。
- ③ 用具の共用は避ける。
- ④ 競技中のハイタッチは避け、エアタッチ等にとどめる。
- ⑤ 競技者・スタッフ同士で対面した状態での発声は避ける。
- ⑥ タオル、水ボトルなどの共用を禁止する。
- ⑦ スタッフが巡回を行い、競技者が密集している場合は直接注意喚起をする。
- ⑧ 競技に携わるスタッフの注意事項も明確にしておく。

VI. その他の留意事項

公共交通機関や飲食店を利用する大会の参加者は、分散したうえでの利用が求められます。

大会の主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面（上記Ⅲ-1）について、保存期間（少なくとも1か月以上）を定めて保存しておくことが必要です。

また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や感染拡大の可能性が報告された場合の対応について、あらかじめ地元の保健所と協議しておき、各保健所と各加盟団体の連絡先を参加者に明示することが必要です。

公益財団法人 日本ゲートボール連合

公益財団法人 日本ゲートボール連合
大会の開催判断基準

○ **大会開催可否の判断（中止又は延期）**

- ① 国が緊急事態宣言を発出した場合
- ② 開催都道府県が外出自粛の要請などを行った場合
- ③ 開催市区町村及び当該行政機関（教育委員会等）からの要請があった場合
- ④ 運営スタッフ又は参加者に感染又は濃厚接触者が確認された場合
※対象者のみ出場停止とするケースもあります。
- ⑤ 開催市区町村内において新型コロナウイルス感染者が発生し、大会運営に支障をきたす場合
- ⑥ 大会開催に必要なガイドライン及びマニュアルに沿った運営が出来ないと判断した場合
※上記内容による緊急の場合は、申込後や大会当日に中止判断となる場合があります。

○ **発熱者・感染者が発生した場合の留意事項**

- ・ 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取扱いに十分注意しながら、参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ・ 大会期間中に体調不良者（発熱等）が出た場合、大会継続・中止の判断を含め、開催都道府県及び市区町村行政機関、保健所の指示に従い対応することができる体制を整えておくこと。
- ・ また、大会終了後に、大会関係者や参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合は、当該行政機関並びに保健所に連絡し、必要に応じてその他の大会関係者や参加者に対して連絡をとり、症状の確認等を行うこと。